

◎団地内で介護サービスなどを提供



2013年11月に完成したアビリティーズ・ケアネットが運営する「デイセンターつとい奈良北」(上)。リハビリ、入浴、食事、レクリエーションなど多様なサービスを提供する(右)



団地全体をケア施設に!

〈奈良北のみまもり住宅〉

◎UR都市機構が高齢者向きの住まいを提供

水回りを中心にリフォーム

みまもり住宅は水回りを中心にバリアフリーに配慮した。浴槽は入りやすいように、またぎ高さを低くして、手すりを設置した(上)。洗面所やトイレは車いすでも利用しやすいように、ドアは引き戸や折戸に替えた(左)

◎民間事業者が見守りサービスを提供



●安心お元気コールサービス

みまもり住宅では、民間事業者(アビリティーズ・ケアネット)が見守りサービスを提供する。毎日、電話で安否確認を行い、月1回、生活相談を行う

●生活相談サービス

「ここに引越したおかげで、元気に歩けるようになりました」。清水桑博さん(92)は笑顔でこう話す。清水さんは、2013年7月に奈良北団地に越してきた。それ以前はあまり歩けなくなっていた清水さんが回復したのは、団地内に2013年11月に完成した「デイセンターつとい奈良北」に週2日通いリハビリに励んだからだ。

同施設を運営するアビリティーズ・ケアネットの土平俊子執行役員は、「リハビリをやれば清水さんのように歩けるようになる方はたくさんいらっしゃいます」と話す。

「つとい奈良北」のオープンに先駆けて、奈良北団地では、高齢者を対象にした新しいタイプの住戸「高齢者向けみまもり住宅」の入居者募集を昨年、始めた。

「この募集は、高齢者の方に安心していつまでも暮らしていただけるよう『団地全体をケア施設にする』という構想実現に向けた第一歩です」(UR都市機構担当者)

みまもり住宅とは、高齢者が暮らしやすいバリアフリーに配慮した住宅をUR都市機構が用意、それに365日電話による安否確認を行うといったサービスを民間事業者が加える賃貸住宅だ。サービスを提供するアビリティーズ・ケアネットは、リハビリ、入浴、食事の提供などを行う「つとい奈良北」も団地内に設けた。

「みまもり住宅入居者以外の方にも、安否確認サービスを提供します。デイセンターも利用していただきます」と土平さんは話す。

緑に包まれた穏やかな環境の奈良北団地には、もともと診療所があった。そこに、今回、見守りと介護のサービスが加わり、高齢者の皆さんに暮らし慣れた場所で安心して住み続けていただける環境がさらに整いつつある。

PART 2 奈良北団地(横浜・青葉区)※2

安心して住み続けるための住まいとサービスを提供する

※2 奈良北団地: 小田急小田原線「玉川学園前」駅徒歩15分、小田急小田原線「鶴川」駅バス13分徒歩1分